

一般社団法人広島県中小企業診断協会 会報誌

診断ひろしま

2023.7

令和5年7月

新年度号
SUMMER

vol.
89

巻頭のことば（挨拶・祝辞）

TOPICS – 通常総会報告

実務補習受講報告／新入会員紹介



経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中小企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

www.hiro-smeca.jp

CONTENTS

診断ひろしま
2023 年夏号

目次



一般社団法人
広島県中小企業診断協会



表紙写真:

G7 広島サミット歓迎モニュメントが設置された平和公園

撮影: 小寺 崇之

市内 27 小学校の児童が育てた白とピンク色のペチュニア 1,400 株で埋め尽くされた「G7 HIROSHIMA」の文字の歓迎モニュメント。多くの来訪者を出迎えた。

巻頭のことば

中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、
より良い方向に導くパートナーとして

会長 井上 明雄 3

成長に向けた価値創出の実現を目指す

中国経済産業局 産業部 中小企業課長 宇山 正樹 4

新年度の事業活動の推進に向けて

広島県 商工労働局 経営革新課 課長 渡邊 正治 5



TOPICS

通常総会報告／新年度組織表

6

実務補習 受講報告

- 令和4年度 冬季実務補習 15日間コース 第2回目 第2班
美容院 / 将来に向けた「弱みの克服」について具体的に提言 高木 健次 8
- 令和4年度 冬季実務補習 15日間コース 第3回目 第2班
学習教材販売業 / 行き詰まり感打破のために組織風土刷新を提案 嘉本 雄太 10

診断士コミュニティ

- 随筆・見聞録 「事業承継について思う」 三原 孝義 12
- 書評 「シン・ニホン AI×データ時代における日本の再生と人材育成」 岩田 潤一 13
- リレー訪問記 伊藤経営支援工房合同会社 代表 伊藤 圭介氏 中澤 浩三 14
- 新入会員紹介 掲載5名 朝日 哲也、新谷 慎太郎、鈴木 章史、高木 健次、林 晃司 16
- 事務所レポート 「知的資産経営の広がりを目指して！」 森島 重樹 19
- おすすめのお店・企業紹介 vol.3 株式会社広島元氣いっぱいプロジェクト (オフィトレ®) 本庄 恭子 20
- 事業承継研究会セミナーレポート 「廃業を防げ! 1,000万円以下 スモール M&A の進め方」 本庄 恭子 22

活動計画

研究会	ISO 研究会	25	委員会	総務委員会	32	年間主要行事日程	39
	企業内診断士の会	26		広報委員会	33	事務局からの お知らせ	39
	ニューロビジネス研究会	27		試験委員会	34		
	カーブを科学する研究会	28		診断実務委員会	35		
	地域活性化研究会	29		更新研修委員会	36		
リスクマネジメント研究会	30	会員研修委員会	37	編集後記 協会会員数	裏表紙		
知的資産経営研究会	31	グループ研究委員会	38				

中小企業経営に寄り添い、 共に考え、共に歩み、より良い方向に 導くパートナーとして



会長 井上 明雄

新型コロナウイルスには、発生から3年の間、感染拡大の波が繰り返される中で、経済や市民生活は大きな影響を受けてきました。現在、第8波の収束傾向、また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症への移行に合わせて、経済活動や市民生活が徐々に回復に向けて動いていますが、感染再拡大の恐れは完全には払拭されていない状況が続いています。

ウクライナ侵攻も、長期化の様相を呈しており、地政学的リスクの高まりによるエネルギーや原材料費の高騰等の影響は、さらに深刻さを増してきています。

このような市場、経営環境の中、中小企業・小規模事業者には、「新型コロナウイルスの影響・原材料価格高騰等の危機への対応」「創業・事業承継を通じた挑戦・自己変革の推進」「成長分野等への緒戦に向けた投資の促進」「地域課題解決に向けた取り組み」など経営環境の大きな変化への対応を迫られています。これらの中小企業・小規模事業者への支援者として、中小企業診断士への期待が一層高まることが想定されます。

また、中小企業・小規模事業者においては、事業再構築、事業承継、デジタルシフトによる生産性向上(DX)、働き方改革、さらにカーボンニュートラル、SDGs・ESG、BCP・事業継続力強化、パーパス経営など支援ニーズが高度に多様化・複雑化する様相を呈しています。

これらの支援ニーズに的確に対応するため、中小企業を支援する中小企業診断士には、コンサルティング品質の向上に努めつつ、これまで

以上に新たな知識の習得、情報収集の強化、それらを活用した幅広い対応力の向上と共有化が求められています。

広島県中小企業診断協会は、「中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向に導くパートナーとして、中小企業の成長・発展、地域経済の振興に貢献する」ことを使命とし、会員の資質向上に向けた研修事業の推進、支援事業の機会の創出、中小企業支援施策や市場動向の情報発信等を通して会員の円滑な活動を支援するとともに、会員相互の情報交流、切磋琢磨を促し、クライアントである中小企業及び中小企業支援機関の満足度を継続的に高めていく活動を推進していきます。

コンサルティング品質の向上に向けた研修事業については、新型コロナ禍の影響から開催方法等に制約があったことは否めません。今後は、過去の経験とその時々状況を踏まえ、積極的な推進に努めていきます。

昨年度から試行的に取り組んできた診断報告書等の質的向上については、会員の皆様の協力のもと期待以上の成果を上げています。今年度から、これらの成果の共有化を図り、会員全体のレベルアップを推進していきます。

地域経済の振興とともに、広島県中小企業診断協会の益々の発展に向け、会員の皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

成長に向けた価値創出の 実現を目指す

中国経済産業局
産業部 中小企業課長
宇山 正樹



一般社団法人広島県中小企業診断協会及び会員の皆様方におかれましては、平素から経済産業行政の推進にあたりまして多大なる御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍での行動制限が緩和されたこともあり、いよいよ経済活動の本格的な回復に向けた期待を感じる一方、足下では、ウクライナ情勢に伴う原油価格・原材料価格の高止まりのほか、深刻化する人手不足など外的なものから、人手を確保するための働き方改革や賃金引上げ、更にはインボイス対応といった内的なものまで、事業環境は外的・内的に多くの課題を抱え、事業者にとってこの先の予測さえも難しい状況となっています。

4月に公表された2023年度版中小企業白書・小規模企業白書においても、中小企業・小規模事業者は引き続き厳しい状況にあるとの認識を示しています。価格転嫁についてみると、これまで官民協働で取引適正化の活動を粘り強く進めてきたこともあり、総じて価格転嫁の状況は改善しつつありますが、労務費やエネルギー価格の転嫁には課題があると指摘しています。労務費をみますと、2022年に賃上げを実施した中小企業は52.6%と2020年の38.2%から増加していますが、賃上げが難しい企業もまだ一定程度存在しており、労務費の価格転嫁が構造的に難しい状況が存在していることが見て取れます。また、賃上げと人材確保は関連性も高く、深刻な人手不足の中でますます人材確保が難しくなるなどの悪循環が懸念されるようです。物価高騰、深刻な人手不足の中にあって原材料価格や労務

費・エネルギー価格の適正な転嫁の推進を図るとともに、「国内投資の拡大、イノベーションの加速、賃上げ・所得の向上の3つの好循環」を実現していくことが重要です。

一方、中小企業は、所有と経営の一致等を背景に、小回りの利いた経営やイノベーションに向けた迅速な取組が可能で、新たな価値創出という側面において大企業にはない強みがあります。中小企業が1社でも多くその特徴を最大限に活かすことで、中長期的に成長を遂げ、域内経済への波及効果を通じて日本経済の発展を促すことが期待されるようです。白書でも触れられているとおり企業の中長期的な成長に向けては、競合他社と異なる価値を創出するための戦略を構想・実行することが重要で、特徴ある顧客・ニーズ等の設定、価値創出の継続とその試行錯誤が不可欠です。そのためには戦略策定・実行の核である経営者人材の強化のほか、その戦略の構想・実行を支えるプレイヤーの存在や、経営者がその仲間との積極的な交流を通じて、企業の成長意欲を喚起していくことも重要です。

このことから中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家である中小企業診断士のみなさまの役割が今後より一層重要になってきます。広島県中小企業診断協会及び会員の皆様方におかれましては、経営者の悩みや成長意欲に寄り添っていただき、その戦略の構想・実行を支えるメインプレイヤーとしてのご活躍をご期待申し上げますとともに、貴会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念いたします。

新年度の事業活動の 推進に向けて



広島県 商工労働局
経営革新課 課長
渡邊 正治

広島県中小企業診断協会の令和5年度通常総会を滞りなく終えられ、新年度の施策方針と重点施策の下で事業活動に取り組まれることを心からお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和34年の設立以来60年以上にわたり、国家資格である中小企業診断士相互の連携と資質の向上に努められ、本県の中小企業の発展や地域経済の振興に寄与されてこられました。また、長期にわたるコロナ禍において、厳しい外部環境の中で業績悪化に苦慮する中小企業向けに地域の支援機関と連携して経営相談に対応されるなど、中小企業診断士の強みを生かした積極的な貢献を頂いておりますことに、厚くお礼を申し上げます。新年度におきましても、中小企業経営に寄り添い、共に考え、共に歩み、より良い方向に導くパートナーとして活躍されることを期待しております。

本県経済の動向については、景気の基調は持ち直しており、景気の先行きも、徐々に改善に向かうことが期待されます。個人消費が緩やかに回復しており、設備投資も緩やかに持ち直しておりますが、物価動向や供給制約などが本県の経済情勢に与える影響を引き続き注視していく必要があります。

こうした中、広島県では、新型コロナウイルス感染症、物価高騰等の影響を受け、厳しい環境下から立ち上がろうとする県内企業を後押しするため、ウィズ・アフターコロナを見据えた取組を行うとともに、地域経済の持続的発展に向けて取り組んでまいります。また、『安心▷誇り▷挑戦ひろしまビジョン』で掲げている、イノベーション立県の実現に向け、広島県の有する強みを伸ばす取組や、事業者の挑戦を後押しする取組に、

引き続き注力してまいります。

経営革新課におきましても、新型コロナウイルス感染症への対応、物価高騰・円安等への対応として、地域の特産品等を販売する「ひろしま夢ぷらざ」の出展者を支援し、販売業に精通した専門家を活用した商品開発や販路開拓によりコロナ禍で売上が減少した県内の小規模事業者の事業継続を図り、地域の活性化につなげてまいります。

また、新たに、小規模事業者等の経営課題の解決につながるDXの導入・活用を推進するため、地域の支援機関である商工団体経営指導員等のDX活用支援スキルの向上とノウハウの蓄積を図ることで、本県のDXの取組の底上げを図ってまいります。

さらに、アフターコロナを見据え、経営革新に取り組む意欲的な事業者を支援するため、デジタル化を含む新事業展開を図るための設備投資、人材育成及び販路開拓に要する費用の一部を補助する「アフターコロナ対応経営革新推進補助事業」を拡充・継続して実施してまいります。引き続き、中小企業の経営相談や計画策定への皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。

中小企業診断士は、中小企業の経営課題に対応する身近な専門家として経営の診断や助言を行うだけでなく、中小企業と行政を繋ぐパイプ役として中小企業施策の適切な活用支援等の幅広い活躍を期待されております。貴協会におかれましても、国の指定法人として中小企業診断士制度の更なる発展に御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々の御発展と御健勝を祈念いたします。

令和5年度通常総会 報告

総務委員長 田村 善光

令和5年6月3日（土）16時よりメルパーク広島において会場とリモート併用のハイブリッドで通常総会を開催した。
井上議長により進行し、3議案は承認可決された。

令和5年6月3日（土）16時よりメルパーク広島の瑞雲において会場とリモート併用のハイブリッドで令和5年度通常総会を開催した。

井上会長からの総会開始挨拶の後に、会場出席者49名、リモート出席者5名、表決権行使72名、合計123名で、総正会員及び名誉会員の総数194名の過半数を超え定足数を超えており総会が成立したことを確認した。

井上会長を議長とし、総会が進行した。

まず、議事録署名人に小寺 崇之会員と田村善光会員を決めた。

次に、第1号議案の令和4年度事業報告を井上議長が行い、令和4年度正味財産増減計算書・貸借対照表を谷本事務局長が説明し、監査報告を松浦監事が説明し、第1号議案の承認を得た。

次に、第2号議案の令和5年度事業計画を井上議長が説明し、令和5年度正味財産増減予算書を谷本事務局長が説明し、第2議案の承認を得た。

次に、第3号議案の会員規定の改定について谷本事務局長が説明し、第3議案の承認を得た。

これをもって、令和5年度総会が終了した。

引き続き、中小企業診断協会の表彰者（在籍20年）として、江川 雅典会員、西田 啓一会員、藤井 好宏会員、松浦 由浩会員、渡辺 敏明会員の5名が表彰された。そして、会場に出席されている江川 雅典会員、松浦 由浩会員、渡辺 敏明会員の3名の方に井上会長から表彰状と記念品が授与された。



総会の後、18時よりメルパーク広島の瑞雲において懇親会が開催された。司会は本田 慎治会員が行った。

14名のご来賓の参加を頂き、井上会長の挨拶の後に、中国経済産業局産業部中小企業課の西村総括係長様と、広島県商工労働局経済革新課渡邊課長様のお言葉を頂き、中小企業基盤整備機構中国本部の松尾本部長様による乾杯が行われた。また、コロナ禍で懇親会が開催できなかった期間に新たに広島県中小企業診断協会に入会した8名の会員が自己紹介を行った。



令和5年度 役員・委員名

役員	代表理事 / 会長	井上 明雄		
	副会長	大村 貞之	岡 佳弘	小寺 崇之
	理事	岩田 潤一	落野 洋一	金田 賢二
		上垣内 邦典	木村 義洋	黒川 睦郎
		田村 善光	古川 佐千夫	
監事	岩井屋 忠昭	松浦 由浩		

顧問	顧問	江川 雅典
----	----	-------

役員	委員会	委員長	副委員長	委員	
	総務委員会	田村 善光	渡辺 敏明	岩崎 美友紀 濱上 敬介 松浦 和夫	中尾 友和 廣岡 雅史
広報委員会	古川 佐千夫	本庄 恭子	青谷 智晃 原 信之介	三本木 至宏 丸田 稔	
試験委員会	木村 義洋	松浦 由浩	岩井屋 忠昭 馬上 元彦 藤原 貴徳 渡部 宗広	植田 昌子 梅木 雄司 牧野 恵美子	
診断実務委員会	落野 洋一		佐伯 昌之	野崎 義博	
更新研修委員会	金田 賢二	小地原 良樹	金河 哲成 中岡 朗 三宅 慶子 森島 重樹	塩田 睦大 藤川 裕志 宮前 美方子 弓掛 元	
会員研修委員会	上垣内 邦典	鼠家 正則	大島 季子 山口 卓	藤川 裕志	
グループ研究委員会	岩田 潤一	鉄本 一生	市岡 沙有理 岡本 志朗 棚田 勇作	伊藤 圭介 黒崎 崇貴 益野 実	

事務局	事務局長	谷本 俊満	事務局主任	村戸 望佐
-----	------	-------	-------	-------

(R5. 6. 14 現在)

実務補習 受講報告①

令和4年度 冬季/15日間コース 第2回目 第2班



実務補習受講生：嘉本 雄太、佐々木 康弘、高木 健次（文責）

1. はじめに

令和5年2月17日から27日まで、塩田 睦大先生指導のもと、製造業在籍の3名で15日間コース第2回目実務補習に取り組んだ。第1回目と違い、班員全員が15日間コースの受講者であり、修了までの長い道のりを共にする仲間だ。最初に第2回目の案内が届いたのは第1回目3日

目の前日だ。経営戦略、技術、人事・労務、販売・営業、財務会計と、5部門を3名でこなす班長としての重責を背負いながらのスタートであったが、カープ研究会の塩田先生の的確な牽制球を受けながら、班員が最高のチームプレーを披露した。

2. 診断先企業の概要

診断先企業は、広島市内で美容院を営む企業で、家族ぐるみの利用客が多く、客とのフランクな関係性や高い技術力で信頼を得ている。また、社長交代を経て、新社長が主導した新メニュー・

サービス導入が功を奏し、客単価向上、既存客の来店頻度向上が図られていた。事前提出のあった診断ニーズは、2店舗目出店の検討、新規顧客獲得、人材確保・育成であった。

3. 実務診断 第1日目・2日目

実務補習の最大の山場は、第1日目、2日目、ヒアリングからSWOT、診断チャートでチームとして、提言の方向性を決めるところだ。

事前準備の甲斐もあり、第1日目のヒアリングは順調だった。施術中にもかかわらず診断先店舗まで視察させて頂き、また顧客のための提案、サービスで「来てよかった」と思われる店にしたいと言う、社長の熱い想いも聞き、理解を深めることができた。

RCC文化センターに戻り、ヒアリング内容をもとに早速SWOTをまとめる。差別化された施術やまつ毛パーマ技術等、多くの強みを持ち、髪質改善の顧客ニーズも捉えていた。一方で、新規顧客獲得に苦慮していること、社員間の技術力の差や主体性が不足していることなど、弱みも抱えていることがわかった。また、診断ニーズである2店舗目出店に関しては、塩田先生ご指導のもと、

診断チームとして商圈調査の上、具体的な提言を行うことにした。

第2日目、広島市立中央図書館開館と同時に乗り込み、MieNaを使い2店舗目該当エリアの商圈情報を検索・取得した。その後、RCC文化センターに戻り、診断チャート作成に取り掛かる。

各自が報告書を作成する上で、診断の方向性を班員全員で意思統一して進める必要がある。早速、議論に入る。第1日目のSWOTをもとに方向性の一つの案について議論した。強みである顧客のための提案力、サービス・技術力を生かし、顧客ニーズを捉えながら持続的発展を目指す案だった。多くの強みを活かしニーズに応えていくが、量を追うのではなく質を向上する、定番の形だが、何か腑に落ちないと、班員の一人が声をあげた。その時、塩田先生から、もう一度現状認識に立ち戻れ、と牽制球が投げられた。確か

に、診断先企業にはすぐに改革に取り組む切迫感はなかった。社長交代後も新メニューが功を奏し、収益面でも問題はなかった。今慌てて何かを行う必要はなく、いわば強みを活かした堅実な経営を実行していたのである。

一方で、将来を見たとき、社員間の技術力、提案力の差、若手人材の不足、現状維持への安住に対する危機感があった。つまり、社会の変化に備

えるための「弱みの克服」が課題であり、2店舗目出店も、将来、更なるサービスの質を高めるための取り組みであった。

改めて、診断の方向性は、将来に向けた弱み克服のため「社員の主体的取り組みで、社会の変化に対応し、持続的発展を目指す」とし、班員全員で認識を一つにした。

4. 実務診断 第3日目・4日目・5日目

各担当の報告書は、実は指導員の中間確認を経た上で、第3日目までにあらかた書き上げる必要がある。つまり、第2日目から3日目の前日までが報告書作成の正念場なのだ。業務多忙の中、徹夜に近い班員もいた。体調不良の中で第3日目前日まで掛けて書き上げた班員もいた。労を労いたい。

第3日目は各自が書いた報告書を全体で突き合わせる。診断チャートで決めた方向性に基づいて報告書を作成したため大きなずれはない。ところが、財務の報告書について、塩田先生からキャッシュフローが合っているか、と指摘があ

がった。実は正しいCFを求めるために、もう一つ資料が必要だったのだ。それに気付かせるための指摘だった。先生の手元から追加資料が手渡された。隠し玉だった。試験とは違い、実務では全ての資料が提供されるわけではない、足りないものは要求する必要がある。

第4日目の準備を経て、第5日目は、プレゼンだ。診断先の社長は、分厚い報告書に驚いた様子だが、要点を絞ってプレゼンを進める。その中、人事・労務の提言に対し、反応が変わった。診断先に合わせた具体的な内容の提言が気付きを与えたようだ。ポテンヒットだった。

5. 所感

若干3名のチームであったが、それぞれの専門性を活かし多面的な分析・検討を行うことで、多くの学び、そして反省を得た。特にヒアリングの大切さは身に染みて感じる事ができた。

以下は、今回学んだ実務補習の心構えである。後進のために記したい。

【実務補習の心構え】

- ① ヒアリングは、先入観を持たず多面的に確認しろ。
- ② 現実は、(クロス SWOT 的な)強みで機会を

捉えるように単純なケースばかりではない。

- ③ 提言は、診断先に合わせ具体的に行え。
- ④ 提言は、夢のようなホームランでなく、ポテンヒットで気付きを与えろ。
- ⑤ プレゼンは、診断士の誇りと自信を持って言い切れ。

5つ目は、第3回目指導員の先生のご指導を踏まえて追記した。今後の実務に生かしたい。

6. 御礼

最後に、快く実務補習にご協力を頂いた診断先企業様、タイムリーかつ的確な指導を頂いた塩田先生、多忙な中、準備頂いた広島県中小企業診断協会の皆様に深く感謝申し上げます。

班員の皆様においては、忌憚のない意見交換と深い洞察で素晴らしい報告書を仕上げた。改めて感謝申し上げたい。

美容院に対し「弱みの克服」が課題として具体的な提言を行いました



実務補習
受講報告②令和4年度 冬季/15日間コース
第3回目 第2班

実務補習受講生：扇山 光一、佐々木 康弘、嘉本 雄太（文責）

1. はじめに

令和5年3月3日から3月13日まで、古川佐千夫先生のご指導のもと、メンバー3名で実務補習に取り組んだ。15日間コース最後の5日間となる。メンバー3名と少数だったが、これま

での10日間の補習で得た経験を活かしながら、各自が率先して作業に取り組み、効率のかつそれでいて内容の濃い実務補習となった。

2. 診断先企業の概要

業種は「学習教材販売業」で、創業当時から幅広い教育分野に事業領域を拡大していき、現在では年商20億円規模、取引客数は年間4,000社を超えている。数年前に突然の社長交代があり、現社長は当時20代半ばと非常に若い歳での就任となった。就任後は、人事評価制度の確立等、内部課題の解決に着手し、基盤強化を図っていた。

また、大口顧客の経営悪化等、多くの問題に直面したが、粘り強い対応で問題解決に取り組んでいた。

一方で、企業を取り巻く事業環境の変化が激しく、社長は今後の業績向上に対し危機感を持たれていた。

3. 実務補習の状況

研修の約1週間前に診断先の企業情報と診断希望内容がメール送付される。各班員の役割分担は、経営戦略（班長）、財務管理、営業・販売である。これまでの補習で経験した担当と被らないように先生に割り振っていただき、私は経営戦略を担当した。

事前学習では、業界の動向分析や経営指標の分析を行い、初日の社長ヒアリングに向けて各自準備を行った。ヒアリング内容は仮説を立てて組み立てていくが、仮説に固執し過ぎると、企業の見方が凝り固まってしまう。ヒアリング当日の回答次第で臨機応変に質問の方向性を変えられるように準備した。

初日は、各班員が考えてきたヒアリング内容

を擦り合わせて、各分野で必ず聞いておきたいこと、入手したい資料について話し合った。午後から企業を訪問し、社長と取締役1名の方にヒアリングを行った。踏み込んだ質問もさせていただいたが、先生と訪問先企業の関係性もあり、答えづらい質問にもざっくばらんにお答えいただくことができた。

2日目は、ヒアリング内容を元にSWOT分析と5フォース分析を実施した。分析結果を元に現状認識と抱えている問題とその根本原因、将来の方向性を議論した。結論の詳細は記載しないが、おおまかには「現状の行き詰まり感を打破するために組織風土を刷新し、全員参加の経営を目指す」という方向性にまとまった。この結論に至

るまでに丸一日を費やす。班員全員で議論しながら、集めた情報を順序立てて丁寧に整理していく。すると、各班員の頭の中に、同じ方向性が自然と浮かび上がってくる。この過程に面白さを感じる。

ここから1週間の個人ワークに入る。この期間を使って、各担当が報告書を作成する。私たちは、途中でオンラインミーティングを挟み、途中経過を共有し方向性を再度確認した。

3日目は、各担当の報告書内容を確認し、各担当が悩んでいるところを全員で議論しながら報告書の質を高めていった。私が担当する経営戦略で悩んでいるところがあり、そこは班員に相談して、班員や先生から助言を貰いながら作り上げていった。

4日目は、報告書全体の流れの確認と翌日の報告会に向けた報告練習を行った。まず、各自の報告書を通して読んだ時に分かりづらいところが無いかを確認した。先生からは、社長が全体を通

して読んだ時にどう感じるかといった視点で色々とアドバイスを頂いた。社長は当日、全50ページの報告書を渡され、そこから2時間近く一気に報告書の説明を受ける事になる。1回の説明で出来るだけ内容を理解してもらうには、報告書全体の流れが重要だ。「この先、社長が何かで悩んだ時、この報告書を手にとってもらえるように。明日の報告で終わりとならないように。」この先生の言葉が印象に残っている。再び手にとってもらえるかどうかは明日の説明に懸かっている。そういった気持ちで明日の発表に備えた。

5日目の最終日は、診断先企業を訪問し、社長と取締役1名の方に報告を実施した。長時間の説明となったが、社長と取締役の方には私たちの発表をととても熱心に聞いていただけた。各班員が前日の練習よりも良い説明する事が出来た。社長からも「社内全体に報告書内容を展開しても良いかもしれない」と仰っていただけた。

4. 所感

今回私は班長を担当したが、他2人の班員が非常に頼もしく、全員が実務補習3回目ということもあり、各自が率先して作業に取り組み、班長としての仕事は比較的少なかった。

実務補習に臨む上で大切だと感じたことに、心理的安全性がある。ほぼ初対面のメンバーが2週間という短い期間で、一つの報告書を作り上げる。その状況下で良い報告書を作る為には、各班員が自分の考えを安心して発言できる場づくりが重要である。「良い提案に対しては素直に褒める」、「人の意見はまず受け入れてみる」、当たり前のことかもしれないが、こういった取り組みが大切だと感じた。

実務補習の最終日に、先生から「心の成長」というアドバイスをいただいた。中小企業診断士

試験に合格するまでの道のりは、幅広い分野を学んで様々な知識を身に付けていく、いわゆる「頭の成長」だった。これから先、経営者や診断士仲間など多様な方々にお会いする中で、更なる成長を遂げるには、その人たちの良い面を見つけてどんどん吸収し採り入れる姿勢が大切だ。これからも学ぶ姿勢を忘れず、周りの方々に良い刺激を貰いながら成長していきたい。

最後に、今回ご協力いただいた診断先企業様、私達の成長のために様々なアドバイスをいただいた古川先生、少数メンバーの中で率先して作業に取り組んだ班員の皆様のおかげで、非常に中身の濃い実務補習となったことに感謝し、心よりお礼を申し上げます。



事業環境変化が激しい学習教材販売業の企業に対して「現状の行き詰まり感を打破するために組織風土を刷新し、全員参加の経営を目指す」という方向性を提案しました

随筆・見聞録

事業承継について思う

中小企業診断士
三原 孝義



事業承継の難しさは、論理的に割り切れない人の感情が絡んでいること。また、事業承継は法律、税務、労務、会計など幅広い知識が必要なため、他の仕業との連携プレーが重要になり、診断士はコーディネーターの役割を担うことになる。

企業内診断士の会では、毎年事業承継について個人発表をしている。事業承継研究会にも所属しており、昨年度は、9月に事業承継研究会から研究成果発表会にて発表させていただいた。また、11月には広島経済産業局のセミナーで同内容の発表をした。今年2月には企業内診断士の会で同事例をアレンジして発表した。

現在は、68歳で会社勤務はしていないが、企業内診断士の会に残らせていただいている。2017年に副業として診断士の業務を行うようになった。このころに、企業内診断士の会に入会した。本社勤務になってから、ポイントが取れなくなっていたが、この年、半年余りで30ポイント取得した。

信用保証協会の案件で最初に伺った企業が、昨年の発表の事業承継の対象となった企業だった。事業承継に関する知識が全くなく、この時は事業承継に関する支援が何もできなかった。それで、2018年3月に事業承継マネージャーの資格を取得、続いて2019年1月に事業承継士の資格を取得した。これで、事業承継に関する概略の知識を習得できたと思っている。

2018年の研究成果発表会で事業承継研究会の存在を知り、さっそく入会させていただいた。事業承継の事例を経験したいという思いで入会し、毎月福山まで通った。

事業承継研究会では、岸田 康雄先生のところから事例問題をいただいて、取り組んでいた。このころの私は、事業承継の問題は、システムティックに整理できるのではないかと考えていた。

つまり

1. 事業の継続性の有無

NO ⇒ 廃業、YES ⇒ 2へ

2. 親族が継承

YES ⇒ 親族内承継、NO ⇒ 3へ

3. 従業員が継承

YES ⇒ 親族外継承、NO ⇒ 4へ

4. M&A

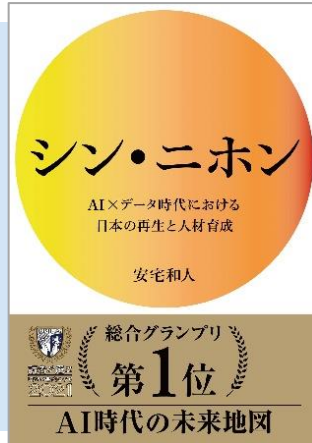
といったフローチャートで、それぞれの対処法を整理するといった具合だ。

しかし、事業承継の難しさは、論理的に割り切れない人の感情が絡んでいること。例えば、企業の内情を他人に知られたくないといった気持ちが壁になっていて、相談することができず、手遅れになってしまう。また、今回の事例のように、論理的に正しい案を選択しないで、感情とか気持ちの上で楽な方を選択されてしまうことなどが起きる。システムの思考では解決できず、経営者に寄り添う気持ちが重要なことに気づかされた。

また、事業承継は、中小企業診断士だけではなく、法律、税務、労務、会計など幅広い知識が必要なため、弁護士、税理士、社会保険労務士などとの連携が必要で、個人プレーですべてを行うことは困難である。したがって、他の仕業との連携プレーが重要になる。診断士はこれらの仕業とのネットワークを構築し、コーディネーターの役割を担うことになる。

書評

中小企業診断士
岩田 潤一



シン・ニホン AI×データ時代における日本の再生と人材育成

著者：安宅 和人

出版社：NewsPicks パブリッシング

発行日：2020/2/20

価格：2,640円（税込）

シン・ニホンとして、①データ×AI世界の第二、第三の波で勝つこと、
②中国の隣という地政学的に有利な状況を活用すること、
③新たなテクノロジーで人口減少を乗り越えることを説明している。
本書は今、日本が何に取り組まないといけないかを示してくれる一冊。

ランキング上位の本を読もうと本書を手にとった。本書は、「読者が選ぶビジネス書グランプリ2021 総合グランプリ」「ビジネス書大賞2020 特別賞（ソーシャルデザイン部門）」等を受賞している。

本書では、現状として、①データ×AI世界で日本が立ち遅れていること、②地政学的な重心がシフトしている（アジアに戻りつつある）こと、③環境問題により地球上の生命全体にとって持続可能性を失いかねない状況であることを説明している。

これに対し、シン・ニホンとして、①リソース配分を変え、人材育成を行い、データ×AI世界の第二、第三の波で勝つこと、②これからトップに立つ中国の隣という地政学的に有利な状況を活用すること、③新たなテクノロジーで人口減少を乗り越えることを説明している。

現状の①データ×AI世界で日本が立ち遅れていることについて、AI×データ戦争における3つの成功要件は「データ量」、「電気代」、「人材」とあり、いずれも日本は、米国等に比べ劣っており、黒船来航（1853年）の時代に例えている。

シン・ニホンの①リソース配分を変え、人材育成を行い、データ×AI世界の第二、第三の波で

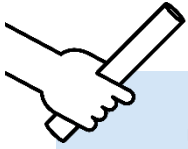
勝つことについて、産業革命においても日本は第二の波から参加し、勝っており、データ×AI世界でも日本が勝つためには、人材育成が必要であり、このためには、教育や科学技術予算等へのリソース配分を変える必要があることを、具体的に示している。

私自身の考察として、AI×データ戦争における3つの成功要件は「データ量」、「電気代」、「人材」とあったが、日本のデータ量が少ないことについては、医療とか特定の分野で魅力あるエコシステムを構築することで対応できるのではないかと考えた。電気代が高いことは、電気代の安い海外のデータセンターを利用するしかないのか。人材については、育てられるかもしれないと考えた。

中小企業診断士としては、データ×AI世界で勝てる「異人」の起業を支援することや、既存企業に対しては、既存事業とは切り離れた挑戦支援や「異人」の起業への出資・人つなぎの支援ができることよと考えた。

本書は、読むと明るい未来をイメージでき、今、日本が何に取り組まないといけないか、示してくれる一冊である。

診断士リレー訪問記



なかざわ こうぞう
中小企業診断士 中澤 浩三



いとう けいすけ
中小企業診断士 伊藤 圭介 氏



今回は、伊藤経営支援工房合同会社代表の伊藤 圭介さんをご紹介します。専門分野の ITC のほか、県の補助金の関連事業や教育関係の事業に携わっておられます。趣味も多彩で、診断協会の研究会にも精力的に活動されています。



広島に戻って8年目、診断士になって6年目になりました。まだまだ修行中の身ですが、公私ともに充実した生活を送るべく人との出会いを大切にしていちいちやっております。

Q1：今のようなお仕事をされているのか教えてください。

中小企業診断士活動として経営支援のための会社を設立して、事業を請け負う体制を作っています。それと並行して、診断士取得前からやっている仕事として、友人のマーケティング会社の支援などもやっております。また、商工会議所や商工会の経営相談員を務めたり、その他、補助金の関係やDX対応に関するセミナーもいくつかこなしております。

Q2：診断士を目指そうと思ったきっかけは何ですか？

きっかけは、五島列島に1ターン移住していた際、とある事業者さんの補助金の申請をお手伝いしたことです。その方は東京から島に移住してきた、いわばアーティスト系の方で、事業計画書の冒頭にも「青い空、白い雲、夏の日差しに魅了され・・・」と書きちゃうような方だったので商工会の方も事業計画書をどのように修正すべきか、途方に暮れているといった状態で、事業

者さんの思いを具現化するお手伝いをしました。最終的には、月に1回島に経営相談に来られていた中小企業診断士の方が事業計画書をまとめられたようですが、その手裁きがあまりにも鮮やかだったのか、事業者さんはすっかり魅了されたようです。そこで事業者さんに「あんたもやってみなよ！」と勧められたことも診断士を目指すきっかけになりました。

その後、地元の広島に帰ることになり、仕事のことや将来のことを考えたり、自分のこれまでのスキルを棚卸ししてみたりする中で、中小企業診断士の資格試験にチャレンジすることを決めました。

Q3：ご自身の強みや活かしていこうと思うことは何ですか？

周りの人からはトーク力と言われていました。自分としては、人のお話を聞くのも、自分がお話するのも好きです。よく、どんな話にもついてきてくれると言われていました。

自分としては確かにいろいろなことに興味や関心を持てるというのが中小企業診断士とし

でも強みになるのかなとは思っております。反面、1つのことに没頭しにくかったりするので、そういった意味では事業ドメインを決め、そのドメインで情熱を注ぎこむ事業者さんの姿勢は尊敬できるものがあります。

Q4：支援の際に大切にしていることは何ですか？

経営支援をする際にも、相手のお話をしっかりと聞き、時にはユーモアも交えて診断指導していきたいと思っております。

経営者は自分の事業に誇りを持っています。その事業に対して敬意を払ったうえで、会社の経営課題について議論していけば、相手も受け入れやすくなるのではないのでしょうか。

自分も過去には支援の際に、マウントを取ってしまうような物言いをしてしまったこともあり、それは大いに反省すべき点でしたが、やはり、長く、継続的にご支援することを考えると、経営者との関係性が大切だと思っております。

Q5：ご趣味はありますか？

趣味は2つあります。1つ目は旅行です。海外にも1人旅とかをしたこともあり、一番思い出深いのは、20代後半に旅をした中東でしょうか。どの国も日本にいる時のイメージと全く異なり、非常に刺激的な日々でした。ですから、コロナも収束とはいかないまでもある程度落ち着いてきたことだし、子育ても一段落したら、再び海外旅行したいです。今1番行きたいのは、予算と時間があれば南米ですね。スペイン語はしゃべれませんが。ウユニ塩湖とかマチュピチュ、アマゾンなど見どころありまくりです！

2つ目はスポーツ観戦です。するのはそんなに得意ではないですが、野球やサッカー、ラグビーや格闘技などは結構好きで見えています。もちろん最も最上にあるチームは言わずと知れたカープです。

なおカープに関しては、診断協会の「カープを

科学する研究会」の創業メンバーとして、またコアメンバー・・・かどうかはわかりませんが、活動には積極的に関与させていただいているつもりです。

Q6：今年のカープについてはどう思いますか？

今年2月に日南キャンプに行って、新井新体制のカープの練習風景を見てきました。当然ファンは選手のサイン目当てに出待ちとかするんですが、1番人気は新井監督でした。

監督が1番目立つというのは結構弱いチームあるあるなんですけど…今のところは、選手の士気も高く、よく健闘していると思っております（本記事の執筆は交流戦開幕直後）。新井監督のリーダー像が現代社会にマッチしたモチベータータイプであり、今の若い世代にはマッチしているのではないかと思います。（カープについては詳しくは次号で、私以上のガチ勢をこの紙面でご紹介します！）

Q7：今後の活動のビジョンや方向性、夢など思い描いていらっしゃることを教えてください。

今、研究会にいくつか入っているのですが、それぞれの研究会において知見を深めて行ければと思います。実は今、始めようかなと思っている研究会があって、いろいろ調査、準備をしているところです。近々、その研究会を爆誕させ皆様にもご案内できるようになればと思っています。

また、これまで自分のストロングポイントがなかなか見えず模索しておりましたが、診断士となって数年自分なりに活動してきた中で、中小企業のデジタル化やDXのようなものに比較優位性があるのではないかと考えてきているので、そういった分野の知見を深め、デジタル化やDXの推進に貢献できればと思っています。

夢としては、仕事オンリーの生活ではなく、ワークライフバランスを考えた、人生を送りたいなと思っています。

新 入 会 員 紹 介

正 会 員 朝 日 哲 也 (あさひ てつや)



皆さん、はじめまして朝日 哲也と申します。令和4年11月に中小企業診断士登録し、令和5年に広島県中小企業診断協会に入会させていただきました。

出身は広島市ですが、四国に本社を置く企業に勤務し、会社人生の8割以上を他県で過ごしておりました。今年の2月に定年で退職し二十数年ぶりに広島に戻ってまいりました。

在籍していた企業は小売業で、職務としては売場での営業、販売促進、企画部門、テナントリーシング、法務・コンプライアンス、内部監査などの業務を経験いたしました。近年は、流通や小売業においても再編が進み、私の所属しておりました企業でもM&A案件がありプロジェクトの一部を担当するなどいたしました。

中小企業診断士を取得したのは、内部監査部門を担当している時に感じた疑問がきっかけです。内部監査の目的は本来企業の経営に資するために、企業活動における問題点の発見とそれに対する解決策の提案を行うことです。実際そのような有効な監査をしている企業様も多くあるのですが、私の部署においては、チェックのためのチェックと化す傾向がありました。もっと経営に役立つ助言や起案ができないかと考えているときにこの資格を知り取得を目指しました。

得意な業種は、小売業、流通業、サービス業ですが、業種に限定されることなく適切な助言や提案ができるよう引き出しをさらに増やしてゆきたいと思っています。

年齢を重ねても常に興味だけは衰えさせないよう心がけています。皆様の、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いいたします。

正 会 員 新 谷 慎 太 郎 (しんたに しんたろう)



新谷 慎太郎と申します。2011年4月中小企業診断士に登録し、広島県中小企業診断協会に所属し企業内診断士として活動していましたが、東京への大学院進学に伴い退会しておりました。この度、広島に戻り独立中小企業診断士として開業することになりましたので、再入会させていただくことになりました。

前職は金融機関にて7年間、支店長として店舗運営を行い、中小企業等に対する企業開拓、経営支援等及び職員の人材育成等に注力してきました。得意分野は金融と経営の両方分かります。中小企業診断士資格を取得したのは、本部企画部門で経営戦略・組織体制の立案、人材育成、大学一般公開講座の講師業務等に従事するなかで、経営全般の知識を持ち、それを活かして人、組織、社会の役に立ちたいと考えたからです。

現在、独立中小企業診断士として開業したばかりですが、ポストコロナにおいて、経営改善等に向けた取組みが必要な多くの中小企業に対して経営支援を行い、微力ながら地域活性化に貢

献したいと考えております。新米の独立中小企業診断士であるため、至らない点が多いかと存じますが、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

正会員 鈴木 章史 (すずき あきふみ)



この度、広島県中小企業診断協会に入会しました鈴木 章史と申します。2021 年度に試験合格、2023 年度に登録をしました。

出身は京都で、就職を機に広島県に移住し、府中市→福山市→府中町と様々な場所で生活しております。現在、鑄造・熱処理を必要とする自動車部品の製造に関する研究開発やグループ会社で開発品の量産立上・量産安定化業務に従事しております。加えて、グループ会社の DX を推進するための第一歩としてノーコードソフトを活用したペーパーレス化などデジタイゼーションも進めております。

技術者として、技術のみでなく、幅広い知識と

経営目線で物事を考える力が研究開発や量産体制の構築を進めていく上で必要と考え、中小企業診断士の勉強を始めました。資格習得までの過程で自身の経験・知識で中小企業の支援ができないかという気持ちが大きくなっていきました。

今後は、現在の企業に勤めながらも広島の製造業を中心とした中小企業の支援をしたいと考えております。特にデジタル技術の活用に関する支援を行い、生産性の向上や新たなサービスの構築などの支援ができればと考えています。

診断協会活動にも参加させていただき、先輩先生方と関係を築いていきたいと考えております。どうぞご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

正会員 高木 健次 (たかき けんじ)



この度、広島県中小企業診断協会に入会しました高木 健次と申します。令和 5 年 2 月の試験合格後、15 日間の実務補習を経て同 5 月に中小企業診断士に登録しております。

広島市安佐南区出身で現在東広島市に在住、電機メーカーに勤務し、スマートフォンなど通信

機器の商品企画、台湾やインドネシアなど海外市場向けのマーケティングを担当しております。

中小企業診断士の資格取得を目指したのは、電機メーカーで商品企画・開発に携わる中で、多くの中小企業の専門技術に支えられ新商品を開発してきて、革新的技術を持つ中小企業がイノベーションの旗手となって成長していく姿を肌で感じ取ったことがきっかけです。これまで電機メーカーで 40 年に渡り従事してきた「商品企

画・開発・マーケティング・海外展開」の知識やノウハウ、成功や失敗も含めた経験、そして診断士資格取得の過程で得た様々な知識をフル活用し、大きなポテンシャルを持つ中小企業の成長を、今度は支援者として支えていきたいと思っています。

本年内に独立開業を目指している緒についたばかりの若輩者ですが、地元広島県の中小企業診断士として、精一杯地域活性化に取り組みたいと考えておりますので、ご指導、ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い致します。

正会員

林 晃司 (はやし こうじ)



この度(令和5年2月)広島県中小企業診断士協会に入会しました林 晃司と申します。出身は京都で令和4年12月に会社を定年退職し、労務経営オフィスを開業しました。

中小企業診断士・社会保険労務士として人事労務分野から経営全般に及ぶ諸問題について対処し、“人を生かし会社を良くする経営”を実践されている経営者をしっかりサポートしていくことを業務としています。

会社時代(電機メーカー)は一貫して営業部門に所属し転勤族で全国を渡り歩いてきたのですが、「どこへいってもそこはいい場所で、いい人に巡り合い、いい仕事をする」を仕事の信条としてきました。そんな中、診断士を目指すきっかけ

となったのは今から15年程前の大阪勤務時代で、当時はもっぱら中小企業に対する営業をしていたのですが、会社へ訪問するとこの社長も商売の話はそちのけでひたすら世間話や自分たちの仕事の話に熱く語りかけてきました。そこでは社長が抱える“孤独とプライド”がひしひしと伝わり、私も「何とか力になりたい」という思いに駆り立てられて資格を取得しました。

これから企業の経営診断を実施するにあたっては診断先の仕事に興味を持ち、「お役に立ちたい」という原点の気持ちを忘れず遂行してまいります。そのために経営者と真摯に向き合い、しっかりコミュニケーションを取りながら業務に携わっていく所存です。皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

New Member



よろしくお願い致します

事務所レポート

知的資産経営の広がりを目指して！

中小企業診断士
森島 重樹



今年4月で診断士として個人開業以来5年目を迎える福山の森島 重樹です。

◆開業の経緯

私は5年前まで金融機関に在籍し中小小売業に6年出向していました。5年前他の会社への出向を打診されたとき1社だけでなく地元のいろいろな企業のお役に立ちたいと思い、金融機関を退職し日本生産性本部で診断士研修を受け資格を取得しました。

開業以来、いろいろな方と関わり合いができ、金融機関在籍時より多方面の方とつながりができています。今、知的資産経営研究会で大変お世話になっている大阪知的資産経営研究会の森下先生もそうですし、他県の金融機関や保証協会の方、商工会議所の方、全国規模で書籍を出されているような方ともつながりができています。

現在の仕事の内容は、金融機関の事業性評価支援、保証協会経営サポート支援、広島県事業引継ぎ支援センターの専門家、再生企業のご支援、補助金支援等様々なご支援をさせていただいています。金融機関出身だけに金融機関の現場力の向上につながる支援を続けていきたいという気持ちも強いです。中小企業診断士の仕事の役割はいわゆる支援者の中心となるハブ的役割が強いと思っています。事業者の支援なのでその核となる経営理念や事業戦略の立案等、主となる立場にいると思います。そういう意味で金融機関・保証協会・税理士・社会保険労務士・弁護士等の支援者と同じ方向性で支援が必要だと思います。最近よく耳にする「伴走型支援」の中心的役割も可能だと思います。

◆知的資産経営との出会い

金融機関の先輩から5年前大阪の森下先生の知的資産経営を紹介され、目からうろこ感覚でした。大阪の研究会にも参加させてもらい、2年前には知的資産研究会ひろしまを仲間と立ち上げ研究会活動に注力しています。知的資産経営とはいわゆる非財務部門の見えざる資産に着目した経営のことですが、事業者が自分の事業とは何かを明確化して振り返る非常にいい手法と感じています。事業者の方がローカルベンチマークなどで自分の事業を明文化すると前向きになれる気がします。知的資産経営は金融機関等による中小企業の事業性評価のみならず、将来ビジョンの社内周知やベクトル合わせ、事業承継など、様々な用途に活用されています。

知的資産研究会ひろしまでは毎月の例会のみならず大阪研究会例会参加やロカベンワークショップ参加や高砂市の企業に知的資産経営報告書作成支援等様々な活動を広げています。ただ広島県内での事業者・支援者への認知がまだ物足りなく、金融機関、商工会議所、保証協会、経済産業局などへ当研究会の活動報告をかねて知的資産経営の認知を広げる活動も注力しています。

◆私の健康管理

私は1年半前に大病を患い3か月入院しましたが後遺症もなく健康に生活できています。それ以来体重は15キロ減量、睡眠時間7時間確保、一日1万歩歩くことを注意しながら健康と向きあっています。仕事時間は以前の半分以下になりましたが、事業者様の伴走支援をこれからも自分のできる範囲内でやっていきたいと思っています。

みんなで地元応援！



おすすめのお店・企業紹介 ～支援の現場より～ vol.3

株式会社 広島元氣 いっぱいプロジェクト

中小企業診断士 本庄 恭子



代表取締役 岩崎 浩美さん

職場で行う“カラダ+脳”の数分間トレーニング「オフイトレ®」
「企業も」「働く人も」元気に、そして社会全体を元気に！



会社名	株式会社広島元氣いっぱいプロジェクト
事業内容	健康づくりの教室運営、指導者養成&サポート、イベント運営など
設立	2013年
実績	導入社数：22社、提供人数：約3,000人
所在地	広島県広島市安佐南区大塚西6-14-1-1102
連絡先	082-848-6469
URL	https://h-genkiippai.jp/

今回ご紹介する企業は、『心豊かな笑顔が溢れる、元気いっぱいの社会』の実現を目指し、健康づくりの教室運営、指導者養成&サポート、イベント運営などの事業を行われている、株式会社広島元氣いっぱいプロジェクトです。

メインサービスの「オフイトレ®」は、2018年第1回中国地域女性ビジネスプランコンテストSOERUの優秀賞を受賞され、多くのメディアで取り上げられました。コンテストのアドバイザーを務められた金田 賢二先生や古川 佐千夫先生も応援されている、期待の企業・サービスです。

広島県三原市出身の岩崎さん。30年以上、運動指導や指導者育成に携わり、地域の方々に運動指導経験と技術を還元したいと考えたことから、2013年に株式会社広島元氣いっぱいプロジェクトを設立されました。

2014年広島土砂災害、2018年西日本豪雨災害の復興支援ボランティアへの参加をきっかけに、健康が自

分と自分の大切な人の命を守る防災に繋がることがを体感。高齢者運動指導と指導者育成に力を入れる一方で、働く世代が健康に過ごせるよう支援する形で社会に貢献したいと考え、オフイトレ®を考案し、上述のコンテスト受賞をきっかけに、事業を飛躍させています。

「人はみんな“健康のためにカラダを動かさばいい！”と知っているにも関わらず、その機会を得ることができない人が大多数。だから、“カラダ+脳を動かす機会を創る”これが私たちの使命です。オフイトレ®は、職場に、カラダと脳を動かす機会を創ります。健康で、コミュニケー



オフイトレの様子

ションと笑顔がいっぱいになれば、「いい雰囲気」を創り出せる。私たちは、そう考えています。」

オフイトレ®は、体の健康だけでなく、職場の雰囲気やコミュニケーションを変えるきっかけを作ること、メンタル面にも効果があるという。

「今、日本で一番健康でなければならない人たち。つまり働く人たちの健康と、そして元気が危ういと感じています。フィジカル面もちろんですが、メンタル面の問題も深刻です。令和3年の「労働安全衛生調査」（厚生労働省）によると「現在の仕事や職業生活に関する事で強い不安、悩み、ストレスになっていると感じる事柄がある労働者」の割合は53.3%となっており、半数以上の方がストレスを感じている現状があります。メンタルヘルスの不調により、休職・または退職する方も後を絶ちません。」

「多くの方が1日の大半を過ごす「職場」。

サービス案内 <https://h-genkiippai.jp/>

もしも「職場全体」が健康と元気を生み出す場になれたなら。そうした思いから生まれた「オフイトレ®」を行うことで、皆の笑顔が増えることを願っています。」

2020年、新型コロナウイルスの流行により、対面でのサービスが難しくなったことからオンラインの「remote オフイトレ®」事業もスタート。さらに、社会福祉施設向けの「リモサポ」、高齢者や外出困難な個人向けの「リモトレ」（いずれもオンライン）にも取り組まれています。

従業員の健康は業績に直結するため、今や積極的に健康経営に取り組む企業は多い。多くの方にサービスを届けたいという思いから、リーズナブルな価格での提供を続けている岩崎さん。オフイトレ®をきっかけに、「企業も」「働く人も」「家にいる人も」元気に、そして社会全体が元気になってほしい。今後益々の活躍が期待されます。



私もリモトレに参加してみました。声掛けや今月のテーマを交えた体操など、リアルタイムの楽しさを実感しました！

 **オフイトレ®**  **remote オフイトレ**
<http://offitra.jp/> <https://r-offitre.com/>

企業に訪問またはオンラインで運動やコミュニケーションを指導・促進。その場ですぐやる！“カラダ+脳”の数分間トレーニング。デスクで、スーツで、簡単に始められる！

プチスタンダードコース月額 8,800 円～（人数でご契約）の福利厚生で、スタッフの健康を守る健康経営を支援します。大手企業導入実績多数。

 **リモサポ**
社会福祉の健康サポート
<https://remosapo.jp/>

福祉施設向けの身体と脳の機能を保持・増進するプログラムをオンラインで提供。週に13本、声掛けをしながらの指導で月額 8,800 円。アーカイブ動画も見放題いつでも活用できる。

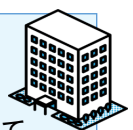
 **リモトレ**
思いやり健康サポート
<https://remotre.h-genkiippai.jp/>

高齢者・障がい者・病気等による外出困難者を対象にしたオンライン隙間時間トレーニング。月額 3,300 円で、週に13本のプログラムを受け放題&アーカイブ動画見放題。

<p>経営支援 内容の紹介 金田 賢二</p>	<p>支援内容： 販促支援、 経営管理に ついて伴走 支援</p>	<p>支援のポイント： ①CF管理：資金繰り表の作り方、管理の仕方を指導 ②顧客資産を拡充する：そもそも顧客資産とは？ 困った時に仕事をくれるのが顧客資産ではない。 困った時に相談をくれるのが本当の顧客資産。</p>	<p>岩崎さんへ一言メッセージ：ビジネスパートナーを増やして営業フィールドを拡大していただきたい！</p>
--------------------------------------	--	---	---

「おすすめのお店・企業紹介」掲載企業募集中！

支援先や知り合いのお店・企業を、診断ひろしまで紹介しませんか？
 経営のポイント、独自性、課題や改善点、診断士がどのように関わっているか等についてぜひご紹介ください。紹介希望の方は事務局までご連絡ください。





事業承継研究会 Zoom セミナー開催レポート

鉄本 一生出版記念セミナー「廃業を防げ！後継者不在の中小企業を救う 1,000万円以下 スモール M&A の進め方」

中小企業診断士 本庄 恭子

高い技術や企業価値を持ちながら後継者不足のせいで廃業してしまう中小企業は後を絶たない。
支援者の横のつながりを強化し、地域の経済や文化・技術を守るために
実用的なスモール M&A ノウハウセミナーを開催しました。



事業承継研究会は2017年に設立された、会員数30名の広島県中小企業診断協会のグループ研究会の中でも2番目に大きい研究会です。代表の植田昌子先生と事業承継の実務に10年以上携わる鉄本一生先生

業承継研究会の紹介を挟み、最後に質疑応答という流れで進行しました。実務に役立つ、具体的な“ここだけ”の話ができるように、質疑応答の時間を30分と長めにとったのが今回のセミナーの特徴でした。実際には、延長を含めて60分近く質疑応答を行い、鉄本先生から様々な体験談やアドバイスを聞かせて頂きました。

セミナー後のアンケートでは「とても役に立つ」73%、「ある程度役に立つ」27%と役に立つの合計が100%という回答を頂き、その理由として「現場の話が聞いて参考になった」、「実践的な内容だった」、「講師・講義の質が良い」との声を多くいただきました。各方面への案内告知にご協力頂いた皆様、お忙しい中ご参加頂きました皆様、改めて深くお礼申し上げます。

を中心として、様々な経験や専門分野を持つメンバーが月に1回、事例問題を元に解決策の研究・発表・ディスカッション等を行っています。現在は、Zoomとリアルなハイブリッドで開催し、研鑽を重ねています。

今後、事業承継に携わる際に参考にして頂けるように、後日、セミナーで使用した資料と共に、講義のポイント・質疑応答の内容をまとめた資料を作成して参加者にメール送付しました。

2022年10月に鉄本先生が、中小企業のM&Aにおける進め方や注意点をまとめた「ストーリーで読む スモール M&A の実務」を上梓されたことを記念して、2023年3月に事業承継研究会主催でセミナーを行いました。開催は完全オンライン (Zoom) で、他土業の先生方や金融・公的機関の支援者の方々にも参加を呼びかけ、約70名と多くの申し込みを頂くことができました。

当日は、セミナー冒頭に事業承継の現状と課題について植田代表から説明があり、続いて鉄本先生からM&Aが増えている理由、準備しておくことや役割分担、最も重要なM&Aのあとについて講義がありました。休憩時間を活用して事

セミナータイトル
鉄本一生出版記念セミナー
廃業を防げ！後継者不在の中小企業を救う
スモール M&A の進め方
取引先や同業者との M&A を成功させるコツとは？

主催 (一社) 広島県中小企業診断協会
事業承継研究会

開催日時 3/13 (月) 19:00~20:30

開催方法 オンライン (Zoom)

参加費 無料

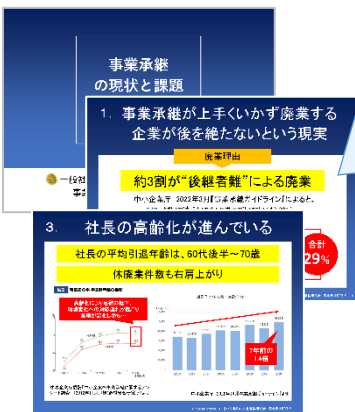
申込者数 68名 (協会外15名、県外8名含む)

中小企業における M&A の難しさは、売り手・買い手の当事者同士の信頼関係・相性とタイミング、支援者のサポートの仕方にあります。売り手が少しでも違和感や不信感を持つと破談になるため、M&A の成功率は 20 社に 1 社とも言われています。自分が育てた大事な会社、長年守ってきた家族のような存在をまるごと渡すことになるため、心情的にも非常にデリケートです。また、売り手の社長は、これまでの社長という立場を捨て、新しい人生を歩み始めなければならず、人生の大きな岐路に立たされます。「自分の人生の集大成として、これで良かったのか。従業員は納得してくれるだろうか。引き継いでくれる新社長が優秀過ぎてもプライドが…」そんな社長の揺れる心を理解しながらサポートできる人

材・チームが求められています。また、見えない資産（強み・弱み）の把握、事業の磨き上げ、簿外債務の把握等、診断士は中立的な立場で、会社がよりよく継続・発展していくための道筋を示しながら伴走していく必要があります。事前調整や契約締結、その後の PMI（経営統合プロセス）まで多面的な役割・スキルが求められます。

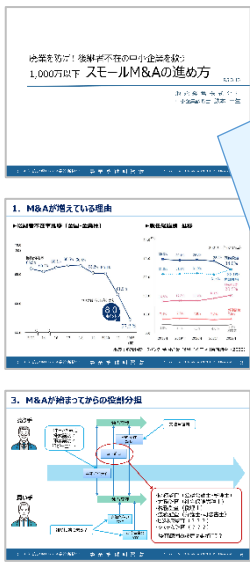
会社を存続させるということは、技術やノウハウを守ること、地域や日本全体の経済力・活力を維持すること、従業員の雇用を守ること、社会に価値あるものを提供し続けることであり、それを支える事業承継支援は社会的に大きな意義を持っています。きらりと光るものを持った企業が消えないように、今後も事業承継のサポートに取り組んでいきたいと思っています。

事業承継の現状と課題



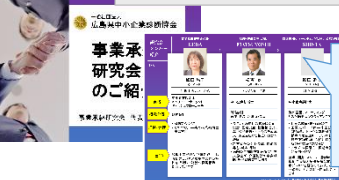
- ・ 廃業理由の約 3 割が後継者難
- ・ 休業した 6 割が黒字
- ・ 社長の高齢化（平均引退年齢 60 代後半～70 歳）
- ・ 事業承継の社会的意義は大きい
- ・ 事業承継のタイプは多種多様で複雑
- ・ 複数人の専門家チームでのサポートが必要

講義資料「スモール M&A の進め方」



- ・ 後継者不在率は 57.2%、内部昇格と同族承継がほぼ同じ（34%）に変化（2022 年）
- ・ 買い手は売り手の 10 倍いる
- ・ 元々近い業種や、取引先等の利害関係者がマッチするケースが多い
- ・ 買収監査は決算書に載っていないものを誰がどうチェックするかが重要
- ・ M&A の最大の目的は、2 つの会社と一緒に 1+1 よりももっと大きい価値を上げていくこと、生産性や売上・事業の継続性が上がること
- ・ 後継者のやり方に不満があるのは当然
- ・ 意図的に 2 社の交流を

研究会紹介資料



- ・ 研究会の概要
- ・ 活動内容、定例会以外の活動
- ・ 研究会メンバーの紹介

— 事業承継研究会からのメッセージ —
 入会希望・事業承継のご相談・セミナーのご依頼等、お待ちしております
 見学は自由です。賛助会員や協会外の他士業・大学教授等の方も研究会に参加可能です。
 お気軽にご連絡ください。
 代表 植田 昌子 Email : masako4-@outlook.jp



「ストーリーで読む スモール M&A の実務」
 出版社：大蔵財務協会
 著：鉄本 一生
 共著：池永 章
 248 ページ / 四六判
 価格：1,980 円（税込）

中小企業経営者・
中小企業支援機関ご担当者さまへ

広島県中小企業診断協会 「グループ研究会」へ のご依頼・ご相談承り中！

研究分野の専門性を活かした

経営
診断

助言

セミ
ナー

研修
会

ISO 研究会

販路開拓 研究会

建設業 研究会

資金繰り表 研究会

原価管理 研究会

事業承継 研究会

企業再生実践 研究会

当協会のグループ研究会では、研究分野の専門性を活かした経営の診断や助言をはじめ、セミナー・研修会等を随時実施しております。

協会ホームページ上にグループ研究会へ直接連絡可能な「ご依頼・ご相談窓口」を設置しておりますので、お気軽にお問合せください。

www.hiro-smeca.jp

一般社団法人
広島県中小企業診断協会

ホーム 協会について コンプライアンス 会員の皆様へ 入会のご案内 グループ研究会 刊行物 関係先リンク アクセス
問い合わせ 賛助活動（研究会、委員会を除く） グループ研究会へのご依頼・ご相談 プライバシーポリシー

経営コンサルタント唯一の国家資格「中小企業診断士」が
広島の中企業の振興と地域経済の健全な発展のお手伝いをいたします

経営者・支援機関さまへ

グループ研究会へのご依頼・ご相談
研究分野の専門性を活かした
支援・セミナー等を実施します

各研究会の研究内容・支援内容
についてはこちらをクリック！

(注) 報酬その他要件は、研究会「ご依頼・ご相談窓口」へ直接メールでお問合せください。
なお、ご依頼・ご相談にかかる一切の行為について、一般社団法人広島県中小企業診断協会は、何ら責任を負うものではありませんので予めご了承ください。

ISO研究会

代表 栗山 琢次

研究会では、ISO の認証取得を目指す企業、認証取得したが経営業績に有効に機能していない企業に対するレベルアップ支援、及び経営改善支援への適用を目指して昨年度は、プロジェクト管理、プロセスアプローチの手法について業種別にマニュアル作りとその運用事例の研究を進めた。



ISO研究会

広島市青少年センターにて



令和5年度活動計画

①メンバー構成

会員5名、オブザーバー参加1名で活動は、1回・2H/2ヶ月とする。

②活動の背景

品質、環境、食品安全、情報セキュリティ、脱炭素化、事業再生強化（BCP）、健康経営、SDGs などリスク、機会に対する取り組みが中小企業へ波及しつつある。

③活動のテーマ

メンバーが業務上関わりを持つ、各種業界、分野のプロセス、システムの改善を進める際にリスク及び機会との関係を整理・理解し、対応する事が重要となっている。

関連する事例を取り上げてマネジメントへの影響（良・否）、個別の運用プロセスへの影響及びその重大性、発生の頻度・可能性などを研究、相互研鑽・深掘り共有財産とする。

④意図するアウトプット

企業診断、改善に有効性のあるマニュアル作りとする。

企業内診断士診断能力向上研究会

研究会広報担当 黒崎 崇貴

企業内診断士診断能力向上研究会（企業内診断士の会）では、

- ・ 企業内診断士の企業診断等にかかる能力の向上（研鑽）
- ・ 中小企業経営の改善・革新の支援（貢献）
- ・ 診断士の活動に必要なネットワーク作り（連携）



を目的として、活動に取り組んでいる。

会員数については、13年目を迎える今年度は、35名（5月時点）となっている。

今年度の活動計画は、毎月第3土曜日に月例会合を開催し、会員それぞれがグループ研究、個人研究を行い、発表を行っていく。今年度はオンライン＋リアルのハイブリッド開催を数回実施する方針であり、対面による交流を増やしていく。



また、会員からの紹介や協会本部の「企業内診断士におけるプロボノ活動の支援に向けた実証実験事業」等による実務診断にも積極的に取り組んでいく（協会本部の実証実験事業は3件実施済である）。

なお、コロナ禍ではオンライン開催していた交流会も、当研究会会員以外の方にもご参加いただけるリアル形式での開催を計画している。

昨年度から始まった他県（愛知・大阪）の「企業内診断士の会」との交流も継続して行っていく予定である。



ニューロビジネス研究会

代表 西村 英樹

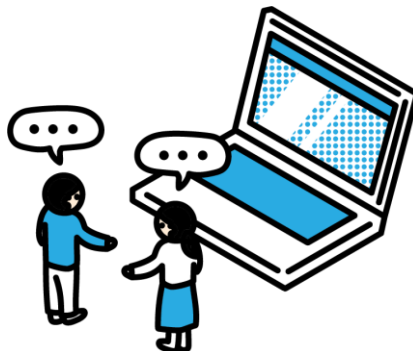
活動目的

当研究会は診断協会会員だけではなく、AI、IoT、ロボティクス等（以下 DX 技術）に関心を持つ中小企業経営者（ユーザ、ベンダー）もメンバーに加え、中小製造業が抱える経営課題を DX により解決することを目的に調査研究を行っている。



活動計画

- (1) 実証実験が中心であった DX 技術であるが、安価で実用的なサービス・製品も急速に普及している。特に今年に入ってから ChatGPT に代表される「大規模言語モデル」や「画像生成モデル」の進歩には目を見張るものがある。今後、診断士を含む専門家を巻き込む経営環境は急激に変化し、土業そのもののあり方も大きく変わることが予想される。DX 技術の活用を前提とした新たな診断士像を模索する。
- (2) 中小製造業での DX 技術実装現場への参加を行う。
- (3) 中小製造業における DX 技術と親和性の高いカーボンニュートラルに対する取組みや DX 技術の農業への転用等についても、関係諸機関と連携し調査研究・実証実験等への参加を行う。



カープを科学する研究会

代表 西村 英樹

活動目的

中小企業診断士の立場から独自の歩みを進めるカープ球団を科学的に研究し、ファンを魅了し応援し
たくなる秘密に迫る。研究成果は地域における中小企業経営支援等に役立てて行く。

活動計画

(1) 個人研究

会員がそれぞれ関心を有するテーマについて調査研究を行い、その結果を研究会で発表する。テーマによっては、グループ研究も行う事とする。

(2) 全体研究

- ・プロ野球選手等のデュアルキャリア支援、野球中継を見ながらの戦力分析
- ・「令和5年度 調査・研究事業」への参加等

(3) 情報発信

研究成果は、診断協会内で共有するとともに外部に対してもHP等により積極的に情報発信を行う。

(4) 会合場所等

会合は毎月1回広島市内、福山市にて実施予定。
新型コロナウイルス感染拡大中はリモートにて実施する。



Zoom 会議の様子

その他

監督・コーチも替わり、新たなカープとしてスタートの年となる。当研究会もフィールドワークに
重点を置いた活動を行う。

研究会メンバー

伊藤 圭介	江川 雅典	大村 貞之	木村 武則
佐伯 隆	塩田 睦大	西村 英樹	古川 佐千夫
藤川 裕志	槇田 雄治	牧野 恵美子	益野 実
森島 重樹	綿谷 伸二	渡辺 敏明	

地域活性化研究会

代表 児玉 忠則

中 間 ご 報 告

地域活性化研究会は、代表である児玉自身が2020年1月に不意に脳卒中になり、二度手術。長い入院生活で、平素、健康だけが取り柄と自負していたものの、手術や入院など、初めての体験とその後の定期検査受診、自主リハビリの厳しい日課の消化が続き、少し慣れてきたもののコロナ禍で研究会としての態勢ができず、研究会の開催もままならず、申し訳なく思います。

そこで、自身が単独でも行動せねばと、活動自体は、多方面に出かけ、地方活性化対策について、独自見解中心に熱く提言。行動中です。



最近では、

- ① 庄原実業高校のご招請により、文科省の「ハイスクール・マイスターカリキュラム」として、高校生に2回、将来の産業人として成長して、何れ出身地たる地域産業界の中核人材を目指すように講義
- ② 大病体験して、健康の大事さを実感、広島市社会福祉協議会後援で健康講義を数回、中には医師、医学博士もおられましたが、幸い多くの質問にお答えして、地域活性化のイロハとして先ずは住民の健康増進が大事と強調。脳卒中予防対策などを紹介、多いに賛同を頂きました
- ③ 庄原市内にて銀行支店長・商工会議所幹部・新聞社地方支局長・教員に参集頂き、地域元気には他都市との連携が効果的と説明
- ④ 現在は、広島大学での2024年の国際会議開催支援による地域活性化対策に取組み中
- ⑤ 地方での美術館建造による、地域文化醸成の支援
- ⑥ 経営学を人生に企業経営にどう活かすかなどの提案主体の講演会数回開催

等ですが、これからなんとか地域活性化に貢献すべく、竹原市の市長様にも2回提言などの具体的活動が主体で、研究会としては今だ軌道化できていないのが実態です。目下地準備段階ですが、実践的活動はかなり拡充中です。

診断協会内の会員を目下募集中です。私自身の諸活動に共感して頂き共に走って頂ける先生方のご参加をお待ちしています。参加メリットとしては、これまで培った都内・横浜・埼玉・広島県内の多くの人財のご紹介により、ご自身の業務拡充に資して頂けるものと思います。

リスクマネジメント研究会

代表 三村 雅彦

「研究会って面白い」。これが私の感想です。理由を3つ記載します。

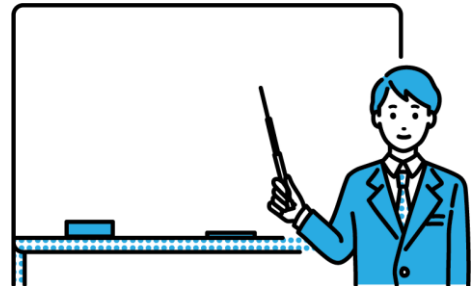


理由①

メンバーは10名。診断士を中心としつつも、行政機関、弁護士、損害保険会社メンバーなどバラエティに富んでいて、ほとんど異業種交流会です。

理由②

研究会が主体となって、2022年と23年に広島市でサイバーセキュリティやBCPに関するセミナーを開催しました。自分たちで企画して集客を予想して・・・と、けっこう楽しいです（うまくいかないことも多々ありますが・・・）。



理由③

研究会の名前があつてこそ、前述のセミナーで行政機関や損害保険業界とのコラボレーションが実現できています。

研究会を設立し3年目となりました。広島の中企業のみなさんに様々な「リスク」を伝え、その対応方法を一緒に考えていくことを目的としています。今年度も対面でのセミナーを企画しています。一緒に汗をかいてくれる方、お待ちしております。

知的資産経営研究会

代表 森島 重樹

主な活動実績

- ◆知的集会開催（毎月第4火曜日開催の例会）
例会の中で千本ノックを実施している。
千本ノックとは、ローカルベンチマーク（以下、ロカベン）で実際の事業者と支援者の会話例文を研究会メンバーで何回も交代して読み合わせを行い、ヒアリングスキルを高めるためのものである。
- ◆ロカベン勉強会・ワークショップ参加
大阪知的資産経営研究会主催のロカベンワークショップ(2023年1月から3月まで3回)と事前の勉強会(2022年12月に2回)へ参加した。
- ◆知的資産経営報告書作成の支援（継続中）
2022年12月より大阪知的資産経営研究会森下会長ご指導の下、当研究会メンバー5名が高砂市の企業へ知的資産経営報告書作成の支援を継続している。(2023年5月までに9回訪問)



企業本社前にて社長、森下先生、金融機関と研究会メンバーで！

今後の計画

- ◆知的資産経営報告書作成の支援完了
現在作成を支援している高砂市の企業向けの知的資産経営報告書が完成する予定である。
- ◆知的資産経営サミット 2023 in 岐阜(飛騨高山)への参加
9月30日に岐阜県高山市で開催予定の知的資産経営サミットに研究会として参加予定である。
- ◆ロカベンセミナー開催予定
金融機関や商工会議所等からロカベンセミナー開催の提案があり、実施を検討中である。

研究会メンバー

森島 重樹	牧野 恵美子
綿谷 伸二	槇田 雄治
植田 昌子	益野 実
大形 光昭	高野 智也

(計8名 2023年5月現在)

総務委員会

総務委員長 田村 善光

1. 活動方針と委員会体制

総務委員会は、当協会の円滑な運営への寄与を活動方針とする。委員長に田村 善光、副委員長に渡辺 敏明、委員に中尾 友和、松浦 和夫、廣岡 雅史、濱上 敬介、岩崎美友紀の7名体制で活動する。



2. 活動計画

総務委員会では、以下の活動を行う。

- | | |
|---|---|
| <p>(1) 総会及び理事会の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常総会（場所：メルパルク広島）
6月3日ハイブリッド開催実施 ・ 理事会
4月19日リモート開催実施
8月23日開催予定
11月、2月開催予定 <p>(2) 広島自由業団体連絡協議会</p> <p>士業12団体で、よろず相談会の打ち合わせ、士業間の情報交換会を実施。</p> <p>第1回 未定
第2回 未定</p> <p>(3) よろず相談会</p> <p>11月実施予定
場所は広島市役所講堂で、士業12団体が参加予定。</p> <p>(4) 無料ビジネス相談会</p> <p>広島市立中央図書館、福山市中央図書館で月1回開催。各図書館に事前申し込みのあった相談者に対して当協会員が対応。</p> | <p>(5) 中国ブロック連絡会議・勉強会</p> <p>10月13日（金）予定
山口県で開催。本部と中国5県の診断士会との交流を図る。
勉強会は中国5県診断士会の勉強会であるが、開催日は1月予定。</p> <p>(6) 創業相談会</p> <p>日本政策金融公庫及び当協会を含む8団体による創業支援無料相談会であるが、今年度の実施は未定。</p> <p>(7) 会員交流会</p> <p>当協会の会員同士の親睦を図ることを目的としており、会員交流会日は未定である。</p> <p>(8) その他総務事項の推進</p> |
|---|---|

広報委員会

広報委員長 古川 佐千夫

1. 委員会メンバー

令和5年度の広報委員会は、委員長に古川 佐千夫、副委員長に本庄 恭子、委員に青谷 智晃、三本木 至宏、原 信之介、丸田 稔の合計6名の体制で遂行する。



2. 活動内容

広報委員会は、中小企業診断士の認知度向上および中小企業診断士の能力向上のために県協会が行う活動を支援することを目的とし、次の活動を行う計画である。

(1) 協会広報誌「診断ひろしま」の発行

診断ひろしまでは、協会・各委員会・研究会の計画や活動の紹介、スキルアップメニュー（診断助言事例、実務従事報告等）や診断士コミュニティ（随筆見聞録、書籍出版紹介、診断士リレー訪問記、新入会員紹介、事務所レポート）等を掲載する。本年度は、7月（本号）と1月の2回の発行を計画している。



(2) 広報活動の推進

協会の活動および取り組みについて、会員や各関係機関等に広く周知を図るため、その他広報活動を行う。具体的な活動内容については今後の委員会にて話し合いを行い決定していく。

試験委員会

試験委員長 木村 義洋

試験委員会は、後述する委員会メンバーが活動方針に基づき、広島地区で実施する中小企業診断士第一次試験、第二次試験（筆記・口述）の計画の立案、運營業務を協会事務局と協力しながら実施する。



1. 委員会メンバー

委員長	木村 義洋	委員	岩井屋 忠昭、植田 昌子、馬上 元彦、梅木 雄司、藤原 貴徳、牧野 恵美子、渡部 宗広
副委員長	松浦 由浩		

2. 活動方針

- (1) 中小企業診断士試験受験者が試験会場で本来の実力を発揮できるようにするため、『安心・安全・快適な受験環境づくり』と『不正防止の徹底』に全力で取り組む
- (2) 広島県中小企業診断協会が質の高い試験事業を継続して実施できるようにするため、『試験業務の改善』と『試験監督者・試験運営員の育成』に継続して取り組む

3. 令和5年度中小企業診断士試験日程

(1) 第一次試験	令和5年8月5日・6日（土・日）
(2) 第二次試験（筆記）	令和5年10月29日（日）
(3) 第二次試験（口述）	令和6年1月21日（日）

4. 活動内容

昨年度も多くの協会会員の皆様にご協力いただき、中小企業診断士試験の運営を無事に終えることができた。心より御礼申し上げます。

年2回（6月、9月）の試験委員会では、委員会メンバーの間で試験実施の注意事項の確認、皆様からいただいたご意見、ご感想の共有等をしている。また、kintone を活用し、協会事務局や委員会メンバーの間で試験業務の準備状況等の報連相を行っている。

試験委員会では今年度も引き続き、中小企業診断士試験受験者のため、また、広島県中小企業診断協会のため、試験業務の確実な実施と更なる改善に取り組むこととしている。皆様には引き続き、中小企業診断士試験の運営に積極的かつ前向きなご協力をお願いしたい。

診断実務委員会

診断実務委員長 落野 洋一

今年度の診断実務委員会は以下の内容で活動する。

- ① 中小企業診断士の登録要件である実務補習
- ② 登録更新に必要な実務従事ポイント取得のための実務従事

今年度も実務補習・実務従事の指導員登録者の増員・育成を重点事項として取り組んで行く。



委員長	落野 洋一	委員	野崎 義博、佐伯 昌之
-----	-------	----	-------------

令和5年度中小企業診断士 実務補習

1. 夏季コース（5日間コースのみ）：RCC文化センター、まなびの館ローズコム等

第1回：令和5年7月7日（金）～7月18日（火）

第2回：令和5年9月8日（金）～9月19日（火）

2. 冬季コース（15日間コース・5日間コース）：RCC文化センター他

第1回：令和6年2月2日（金）～2月13日（火）

第2回：令和6年2月16日（金）～2月26日（月）

第3回：令和6年3月1日（金）～3月11日（月）

令和5年度中小企業診断士 実務従事

10月、または11月の1回実施を予定

更新研修委員会

更新研修委員長 金田 賢二

1. 委員会メンバー

令和5年度の更新研修委員会は、委員長に金田 賢二、副委員長に小地原 良樹、委員に金河 哲成、塩田 睦大、中岡 朗、藤川 裕志、三宅 慶子、宮前 美方子、森島 重樹、弓掛 元の合計10名の体制で遂行する。



2. 活動内容

更新研修委員会は、中小企業診断士の登録に必要な5年ごとの「知識の補充要件」の更新要件を満たす研修の実施を目的としている。受講者の要望を汲み取り、時世にあった研修を開催できるように、会場や講師など運営に携わる内容、委員会の協議により決定し、協会事務局と協力しながら運営・実施していく。

今年度も環境に配慮して安全、安心に受講いただける研修を目指す。本年度第2回はリモート環境で開催する。

3. 本年度の理論政策更新研修の予定

本年度は、3回の研修を予定している。

第1回	令和5年7月15日(土)	13:00 ~ 17:40 (定員 80人) 「新しい中小企業施策について」 「中小企業の事業再構築支援」	まなびの館ローズコム 広島県福山市霞町 1-10-1
第2回	令和5年11月18日(土)	13:00 ~ 17:40 (定員 90人) 「新しい中小企業施策について」 「中小企業の生産性向上支援」	リモート開催
第3回	令和5年12月16日(土)	13:00 ~ 17:40 (定員 200人) 「新しい中小企業施策について」 「中小企業の伴走支援」	広島県 JA ビル講堂 広島県広島市中区 大手町 4-7-3

インターネットでの受講申し込みについては下記 URL を参照ください。

リモート理論政策更新研修について	https://www.j-smeca.jp/contents/006_c_about_koushinriron/001_c_information/001_c_fy2021/about_remote.html
理論政策更新研修ネット申込の手順	https://www.j-smeca.jp/attach/rironkenshu/mousikomitejun.pdf

会員研修委員会

会員研修委員長 上垣内 邦典

1. 委員会メンバー

令和5年度の会員研修委員会は、下記の計5名体制で遂行する。

委員長	上垣内 邦典	委員	大島 季子、藤川 裕志、 山口 卓
副委員長	鼠家 正則		



2. 活動内容

会員研修委員会は、協会員診断士のスキルアップを目的として、会員研修を企画・開催する。

会員研修および委員会は、参加者のスケジュール自由度の確保を重視して、本年度も基本的にZoomを用いたリモート形式で行うこととする。

3. 本年度の会員研修の予定

本年度は、3回の会員研修を予定している。研修内容は「企業内診断士向け」を2回、「独立診断士向け」を1回という配分で実施する予定である。

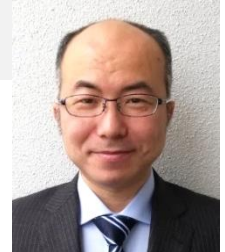
第1回会員研修	令和5年7~8月頃
第2回会員研修	令和5年10~11月頃
第3回会員研修	令和6年2~3月頃

また、各回の会員研修に先立って会員研修委員会を開催する予定である。

グループ研究委員会

グループ研究委員長 岩田 潤一

当協会のグループ研究会は、現在、13グループが、企業診断や中小企業支援事業等に係る技術・能力の向上に取り組んでいる。



ISO 研究会	建設業研究会	企業内診断士の会
海外展開支援研究会	ニューロビジネス研究会	資金繰り表研究会
原価管理研究会	事業承継研究会	企業再生実践研究会
カープを科学する研究会	地域活性化研究会	リスクマネジメント研究会
知的資産経営研究会		

グループ研究委員会では、研究会相互の連携を図るとともに、新規研究会の設立を促進することにより、研究会活動の活性化を目指す。また、研究成果を広く発信することにより、会員相互の研修の場を提供し、当協会会員増加に貢献していく。

1. 委員会メンバー

委員長	岩田 潤一	委員	市岡 沙有理 伊藤 圭介 岡本 志朗 黒崎 崇貴 棚田 勇作 益野 実
副委員長	鉄本 一生		

各研究会代表による連絡会議を開催する〔令和6年2月4日(日)開催予定〕。

②調査研究活動補助費の支給

研究会活動の活性化を図るとともに、新規研究会設立意欲を高めるため、グループ研究会の活動にかかる費用の一部を補助する。

2. 活動内容

(1) 新規研究会の設立促進

新規研究会の設立に向け、研究会メンバー募集等の支援を行う。

(2) 研究会活動のPR

研究会活動PR小冊子の掲載情報を更新し、協会HPで公開するとともに、様々な機会を捉えPRを実施する。

また、協会HP上に研究会の「相談受付窓口」を引き続き設置し、支援機関や中小企業等に対しPRを実施する。

(3) 研究会活動支援

①グループ研究会連絡会議

研究会相互の連携を図るとともに、研究会活動活性化に向けた諸課題を議論するため、

(4) 研究活動成果の発信

①研究活動成果発表会

会員相互の研鑽の場を提供するとともに、研究会参加を契機とした協会への新規入会を促進するため、研究テーマに関する発表会を開催する。

〔成果発表会開催概要〕

日時：令和5年9月2日(土)
場所：広島県情報プラザ 第一研修室
(WEB同時配信)
発表研究会：「ニューロビジネス研究会」
「企業再生実践研究会」
「リスクマネジメント研究会」

②論文等の公開

研究成果に関する論文等について、随時協会HP上で公開する。

令和5年度 年間主要行事日程	
日 付	行 事
4月19日(水)	第1回 理事会(ハイブリッド開催)
6月3日(土)	通常総会
7月7日(金)～18日(火)	夏期実務補習①(5日間)
7月15日(土)	第1回 理論政策更新研修(福山会場)
8月5日(土)6日(日)	中小企業診断士 第1次試験
8月23日(水)	第2回 理事会(ハイブリッド開催)
(8～9月)未定	第1回 会員研修
9月2日(土)	グループ研究会 研究成果発表会
9月8日(金)～19日(火)	夏期実務補習②(5日間)
10月29日(日)	中小企業診断士 第2次試験(筆記試験)
11月22日(水)	第3回 理事会
11月18日(土)	第2回 理論政策更新研修(リモート開催)
(11～12月)未定	第2回 会員研修
12月16日(土)	第3回 理論政策更新研修(広島会場)
1月21日(日)	中小企業診断士 第2次試験(口述試験)
2月2日(金)～13日(火)	冬期実務補習①(15日間・5日間)
2月21日(水)	第4回 理事会
2月16日(金)～26日(月)	冬期実務補習②(15日間)
3月頃(未定)	第3回 会員研修
3月1日(金)～11日(月)	冬期実務補習③(15日間)

最新情報は広島県中小企業診断協会ホームページ「協会について>活動計画」でご確認ください。

事務局からのお知らせ

1. kintone(キントーン)導入のご案内

令和5年度からキントーンを通じて会員向けの情報発信を始めております。使い方のご質問や、便利な使い方のご提案などありましたら事務局までメール連絡お願いいたします。

2. コンプライアンス研修受講のご案内(正会員の方へ)

正会員の方は本部マイページよりコンプライアンス研修を受講してください。受講方法が不明な方は、県協会ホームページをご参照ください。

● [県協会ホームページ](#)>[コンプライアンス](#)>[コンプライアンス研修](#)

中小企業診断士にはコンプライアンスの遵守が強く求められています。未受講の方は必ず受講してください。また事業受託の必須条件としております。

3. 専門家登録の案内および情報更新のお願い(正会員の方へ)

広島県中小企業診断協会では各支援機関より様々な中小企業支援事業を受託しております。受託した案件については、正会員の中で専門家登録をいただいている方に、随時依頼または公募を行っております。まだ専門家登録をされていない方は是非登録していただき、大いに活躍して頂きますようお願いいたします。また、すでに登録されている専門家の方は登録内容に変更のあった場合(経験年数の更新を含む)には、随時更新していただきますようお願いいたします。登録手順につきましては、事務局(jsmeca34@sunny.ocn.ne.jp)まで直接ご請求ください。

編集後記

広報誌発行にあたりご協力下さった皆様に心よりお礼申し上げます。

本号は新年度号として5月に行われた通常総会の報告、各委員会の年度計画報告等を中心に編集を行いました。

本号の表紙写真は「G7 広島サミット歓迎モニュメントが設置された平和公園」で小寺副会長にご提供いただきました。ロシアのウクライナ侵攻により核兵器使用のリスクがかつてなく高まる中、被爆地広島で世界平和と持続的な発展に向けた対話が行われたことは意義深いものでした。また、G7 広島サミットの成功に向けてG7 首脳や招待国首脳のみならず世界中から集まった報道関係者や訪問者の方々に対して広島ならではのおもてなしをオール広島で取り組んだ姿勢は世界中に広島の魅力を発信できたと同時に我々広島県民にとってわが街広島への愛着や誇りを強く感じさせてくれました。

そんなG7 広島サミットで印象的だったのはゼレンスキー大統領の来広です。慰霊碑の前で黙祷を捧げるゼレンスキー大統領、そして世界に向けたメッセージ。世界中でウクライナ支持支援の波が増幅される瞬間が映像に残されました。来広はウクライナ国内での戦況や国際情勢の揺らぎ等全てを考慮した上でのゼレンスキー大統領の決断で実現されたものでした。

組織を救うため皆をまとめ最適解を導きだし臨機応変な対応を行うゼネラリストの究極の姿をゼレンスキー大統領に見た思いがします。「中小企業診断士」はゼネラリストの資格だと言われています。「ゼネラリスト時代遅れ論」を囁く風潮もありますが、経営環境が混沌とする今こそ真のゼネラリストが必要とされています。そのためには単に知識を積むだけでなく、現実社会に活かせる生きた知識、生きた経験を身に付けることが重要だと感じます。

ゼレンスキー大統領の来広は、パソコンのディスプレイ画面を見続けることより、市井に飛び込み「悩める経営者」と正面から向かい合い視線を合わせることが我々中小企業診断士に求められる姿勢だと痛感させられた出来事でした。

本年度も皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。

広報委員長 古川 佐千夫

一般社団法人広島県中小企業診断協会会報 第89号

発行：令和5年7月7日（年2回発行）

発行人：会長 井上 明雄 編集人：広報委員長 古川 佐千夫

会員数

223名

令和5年7月時点
正会員・準会員・特別会員
含む。休会員は含まない

記事やお知らせ募集中！お気軽にご連絡ください



一般社団法人 広島県中小企業診断協会

Hiroshima Small and Medium Enterprise Management Consultant Association

〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号 広島県情報プラザ3階

TEL：(082) 569-7338 FAX：(082) 569-7336

E-mail: jsmecca34@sunny.ocn.ne.jp

www.hiro-smeca.jp



「診断ひろしま」の
バックナンバー公開中

